



(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和元年 6月 28日

京都府知事 様

提出者
住 所 〒611-8585
京都府宇治市木幡西中25番地
氏 名 パナソニック株式会社
インダストリアルソリューションズ社
デバイスソリューション事業部
事業部長 田中 泰裕
電話番号 0774-32-1111(代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2018年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	パナソニック株式会社 インダストリアルソリューションズ社 デバイスソリューション事業部 宇治工場
事業場の所在地	宇治市木幡西中25番地
事業の種類	電気機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

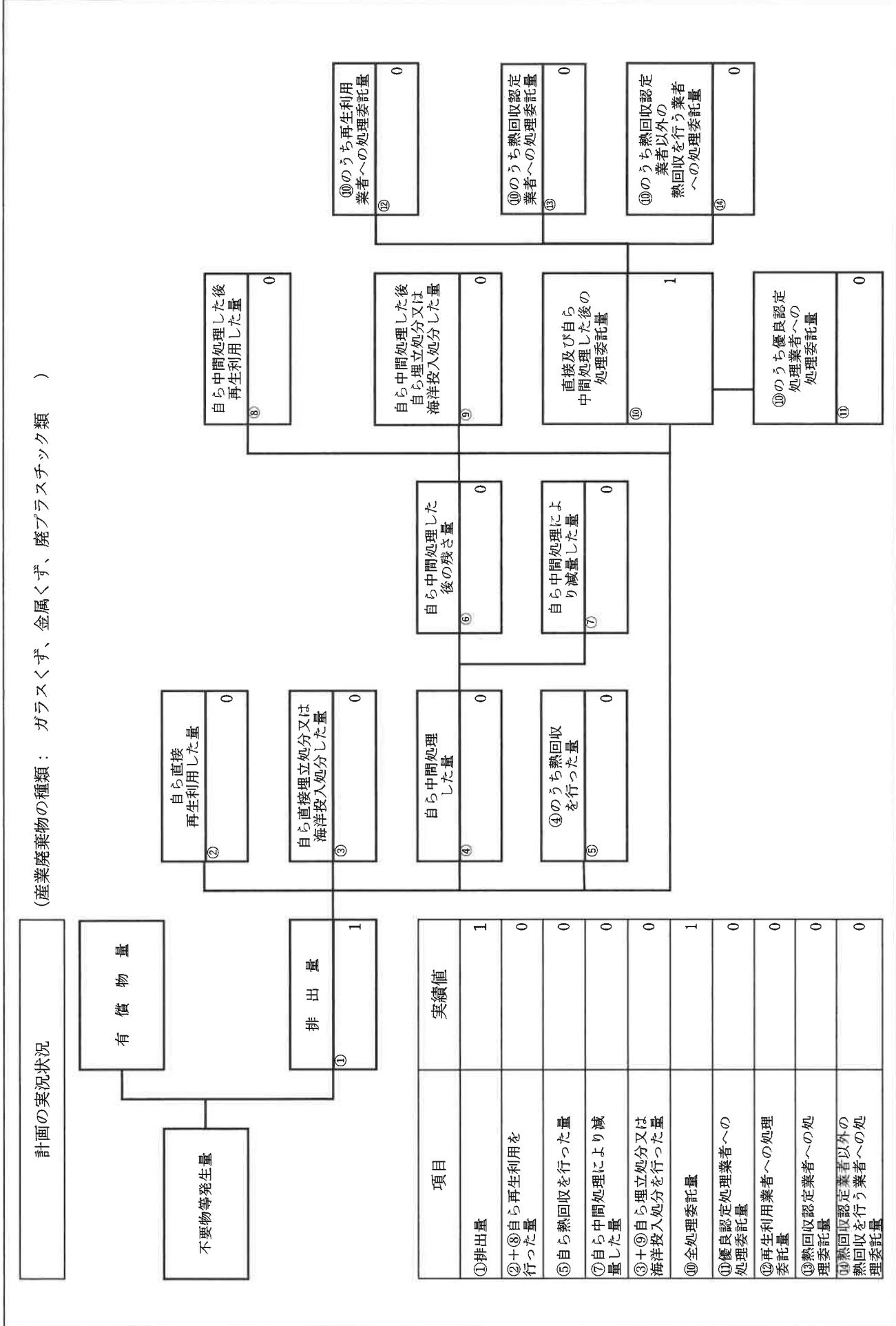
項目	目標値	項目	目標値
排出量	30,685t	全処理委託量	9,385t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	9,385t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	7,185t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	21,300t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	2,330t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

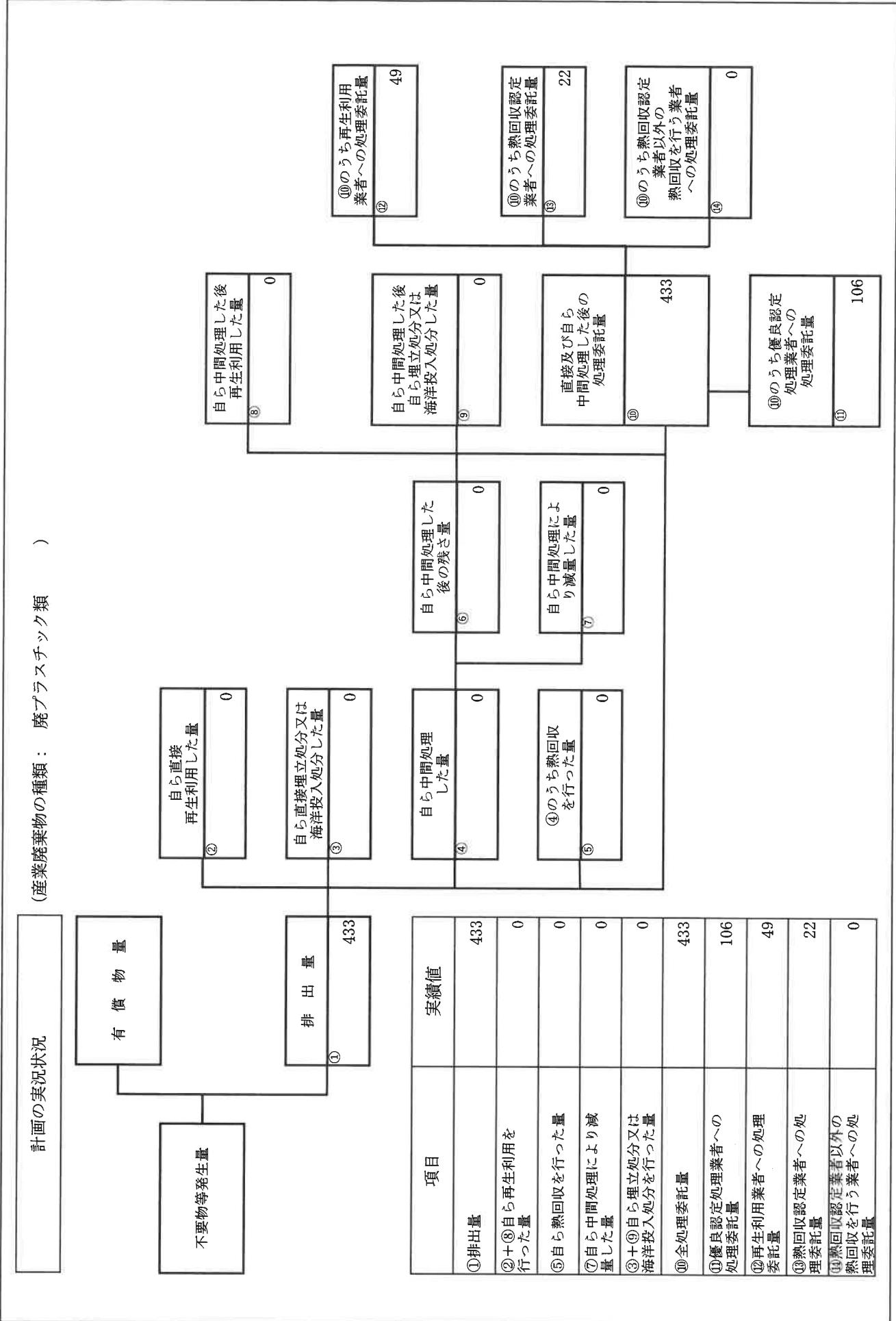
計画の実況状況	
(産業廃棄物の種類 : 廃油)	
項目	実績値
①排出量	8,552
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	8,552
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8,533
⑫再生利用業者への処理委託量	8,506
⑬熱回収認定業者への処理委託量	5
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	6,512
⑮自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑯自ら中間処理した量	0
⑰自ら中間処理により減量した量	0
⑱自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑲自ら中間処理した後の残さ量	0
⑳自ら直接利用した量	0
㉑自ら中間処理した後、業者への処理委託量	8,506
㉒自ら直接利用した後、業者への処理委託量	0
㉓自ら直接利用した後、業者への処理委託量	5
㉔自ら直接利用した後、業者への処理委託量	6,512
㉕自ら直接利用した後、業者への処理委託量	8,533

計画の実況状況	
不要物等発生量	有償物量
	排出量
①	1
項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
項目	実績値
②自ら直接再生利用した量	0
④自ら中間処理した量	0
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0
⑧自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑩自ら中間処理した後、自ら直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑫のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0
⑬のうち再生利用業者への処理委託量	0
⑭のうち中間処理した後、自ら直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0
項目	実績値
②自ら直接再生利用した量	0
④自ら中間処理した量	0
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0
⑧自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑩自ら中間処理した後、自ら直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑫のうち再生利用業者への処理委託量	0
⑬のうち中間処理した後、自ら直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0

計画の実況状況	
(産業廃棄物の種類 : 汚泥)	
項目	実績値
①排出量	23,886
②+③自ら再生利用を行った量	0
④自ら中間処理した量	23,490
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑥自ら中間処理による減量した量	2,190
⑦自ら中間処理により減量した量	21,300
⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑨自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑩自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,586
⑫再生利用業者への処理委託量	2,585
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	841
⑮自ら直接再生利用した量	0
⑯自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑰自ら中間処理した後、再生利用した量	0
⑲自ら中間処理した後、再生利用した量	0
⑳うち再生利用業者への処理委託量	2,585
㉑うち熱回収認定業者への処理委託量	0
㉒うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	841
㉓うち優良認定処理業者への処理委託量	2,586



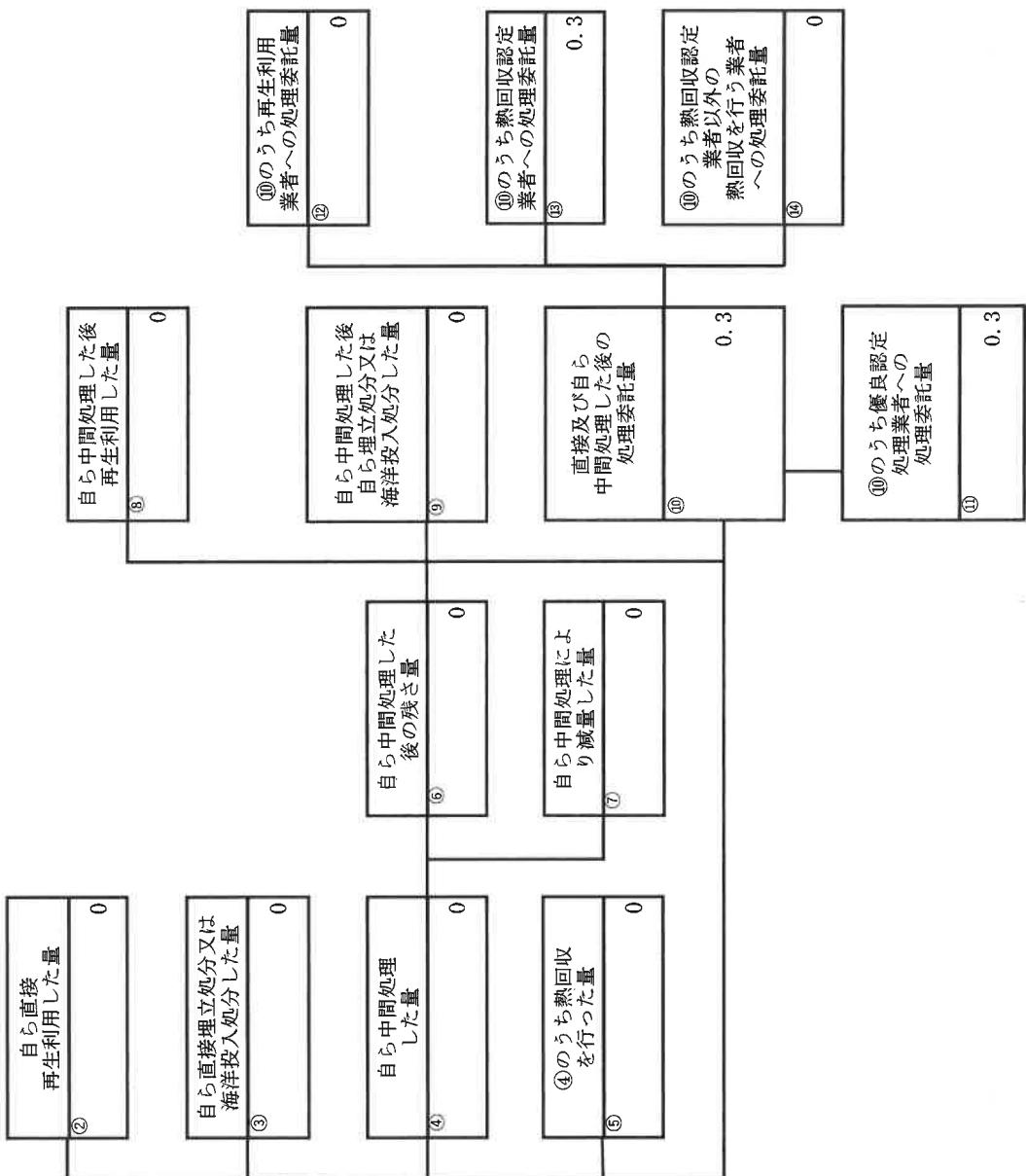
計画の実況状況	
不要物等発生量	有償物量
	① 排出量 0.1
	② 自ら直接再生利用した量 0
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 0
	④ 自ら中間処理した量 0
	⑤ 自ら熱回収を行った量 0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 0
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 0.0
	⑧ 自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 0
	⑨ 自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 0
	⑩ のうち再生利用業者への処理委託量 0
	⑪ のうち熱回収認定業者への処理委託量 0
	⑫ のうち優良認定処理業者への処理委託量 0.1
	⑬ 再生利用業者への処理委託量 0.0
	⑭ 热回収認定業者への処理委託量 0.0
	⑮ 热回収認定業者以外の業者への処理委託量 0.0
項目	実績値
① 排出量	0.0
② + ③ 自ら再生利用を行った量	0.0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0
⑨ ⑩ のうち自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑪ 全処理委託量	0.1
⑫ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑬ 再生利用業者への処理委託量	0.0
⑭ 热回収認定業者への処理委託量	0.0
⑮ 热回収認定業者以外の業者への処理委託量	0.0

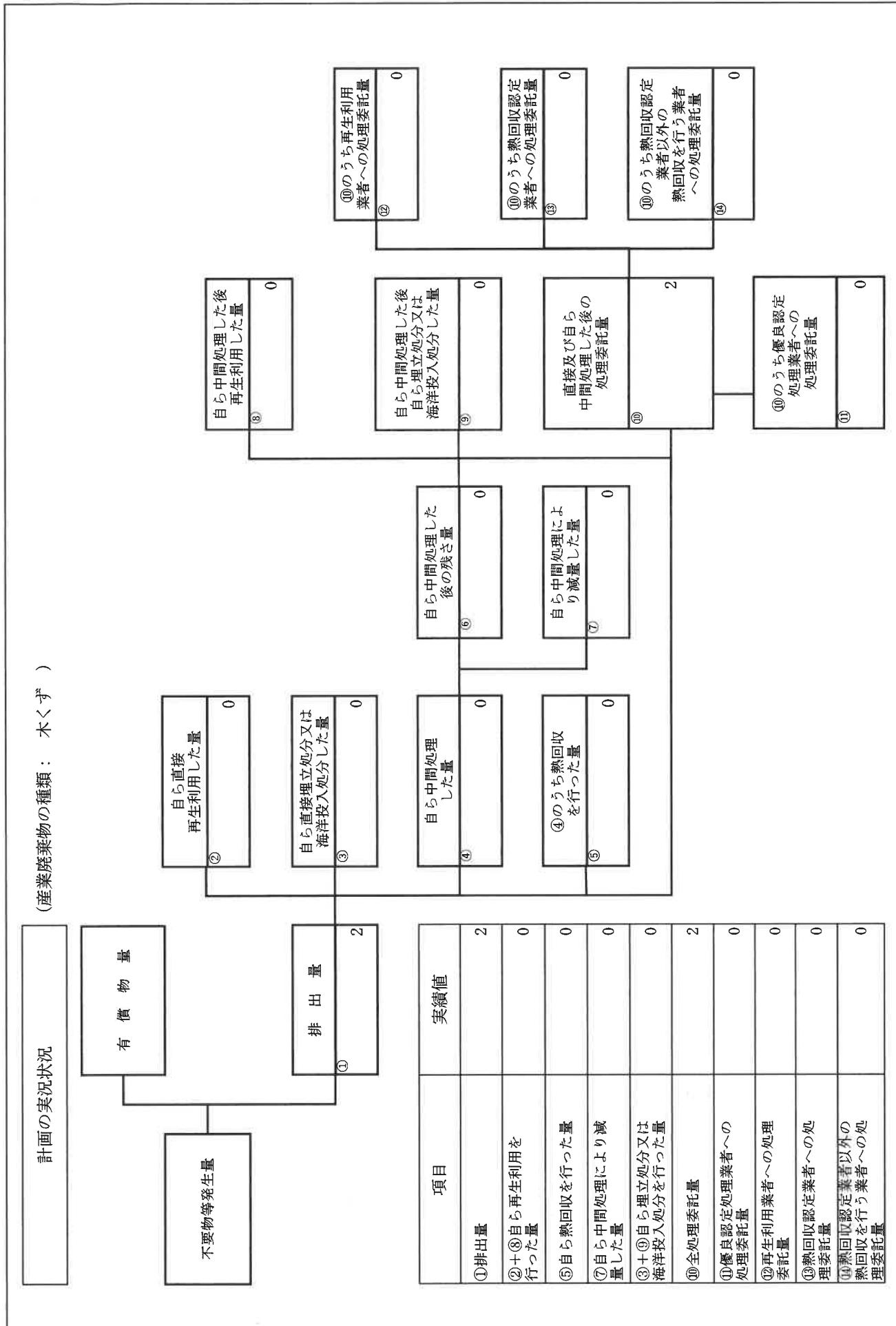


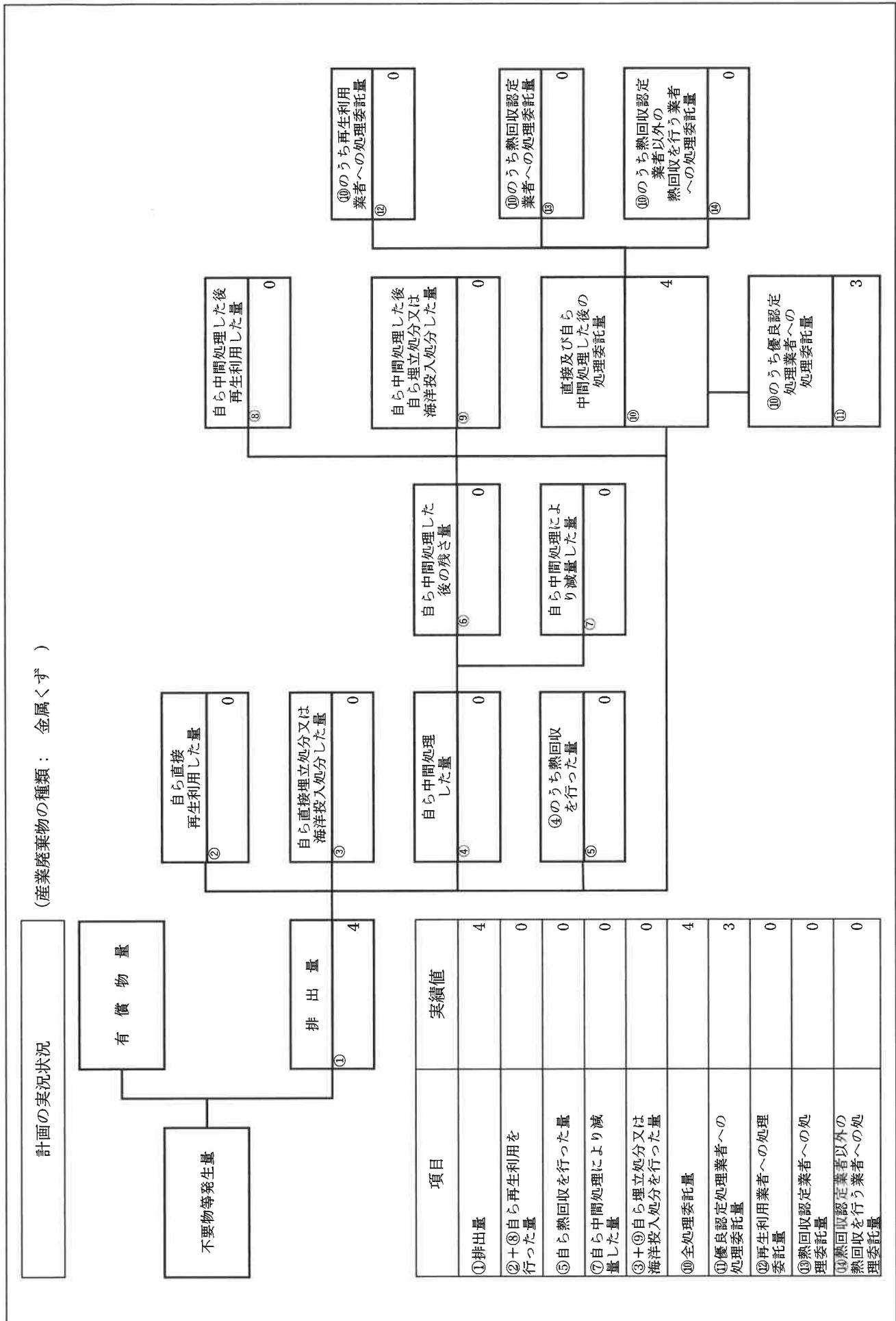
計画の実況状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

有 債 物 量	
不要物等発生量	
①	排出量
②	0.3
③	0.3
④	0
⑤	0
⑥	0
⑦	0
⑧	0
⑨	0
⑩	0
⑪	0
⑫	0
⑬	0
⑭	0







備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。